

キャップ&トレード型 国内排出量取引の 制度づくりへ向けて



現在、国会で審議中の地球温暖化対策基本法案では、2020年25%削減、2050年80%削減の道筋を確かなものにするために、国内排出量取引制度について、一年以内に制度作りをし、法律を作ることをめざすこととされています。

環境省にも小委員会が設置され、制度の論点についての議論も始まっています。国内排出量取引制度は、どのように設計することが望ましいのでしょうか？そしてそれはどのような変化をもたらし、削減の効果を上げるのでしょうか？

本シンポジウムでは、日本国内において、排出量取引制度に精通している有識者、自治体関係者、環境NGOらが、これからこの制度を通じて目指すべきことを提案し、同制度づくりの重要な論点について、問題提起を行いながら、あるべき制度について展望していきます。

プログラム案（予定は変更の可能性あります）

1. 基調講演（各15分）13:30~14:00
 - ・グリーン産業の育成のために今なすべきこと 飯田哲也・環境エネルギー政策研究所所長
 - ・キャップ&トレードの国内排出量取引制度の導入が今なぜ必要か 諸富徹・京都大学教授
2. 国内排出量取引制度の論点について（各10分）14:00~14:30
 - ・EUETSとイギリスの制度の現状について（キャシー・リーチ、英国大使館一等書記官）
 - ・企業の見解（出嶋 義定）富士通株式会社 環境本部 環境企画統括部 プロジェクト課長）
3. ディスカッション ~ 望ましい制度作りに向けて 14:30~16:00
問題提起（各10分）
 - （1）電力の取り扱いについて 問題提起者：千葉恒久（日本環境法律家連盟、弁護士）
 - （2）国際競争力について 問題提起者：明日香寿川（東北大学教授）
 - （3）衡平な初期配分について 問題提起者：山岸尚之（WWFジャパン 気候変動プログラムリーダー）パネリスト：大野輝之（東京都地球環境担当理事）、浅岡美恵（気候ネットワーク代表）、ほか

2010

6/3 (木)

開会 13:30~

終了 16:00

日時：2010年6月3日(木)13:30~16:00 会場：星陵会館ホール
参加費：一般1000円、主催・共催団体いずれかの会員：500円

主催：気候ネットワーク、共催：環境エネルギー政策研究所、WWFジャパン

キャップ&トレード型 国内排出量取引の 制度づくりへ向けて

FAX申し込み用紙

FAX 03-3263-9463

お申し込み内容

ご記入いただいた内容は、本セミナーに関するお知らせにのみ利用させていただきます。

申し込み番号
(※事務局用)

■参加者氏名

-
-
-
-
-

■団体名・会社名

■所属

■連絡先

TEL.

Eメール

アクセス

星陵会館

〒100-0014
東京都千代田区永田町2-16-2
TEL 03(3581)5650
FAX 03(3581)1960

■地下鉄

- ・有楽町線、半蔵門線 徒歩3分
(永田町駅下車6番出口)
- ・千代田線 徒歩5分
(国会議事堂前駅下車5番出口)
- ・南北線 徒歩5分
(溜池山王下駅下車/国会議事堂前駅5番出口)
- ・銀座線、丸の内線 徒歩7分
(赤坂見附駅下車)



お問い合わせ

気候ネットワーク東京事務所

東京都千代田区麴町2-7-3半蔵門ウッドフィールド2F

TEL 03-3263-9210

FAX 03-3263-9463

tokyo@kiconet.org

E-mail (tokyo@kiconet.org) もしくは FAX (03-3263-9463) 宛に、ご氏名・ご所属・連絡先、及び会員・非会員の種別を下記の上、件名を「6月3日ETSセミナー申込み」としてお申込みください。お申し込みは、自動的に受け付けます。人数が超過して出席をお断りする場合にはのみお返事を差し上げますのでご了承ください。